

流行
しています！

りゅうこう

りんご病
(伝染性紅斑)

びょう



りんご病(伝染性紅斑)とは？

どんな病気？

両頬に赤い発しん(紅斑)が出ることから「りんご病」と呼ばれる感染症です。感染経路は感染した人の咳のしぶきを吸い込む「飛沫感染」や、「接触感染」です。

どんな症状？

約10日の潜伏期間の後、微熱やかぜ症状がみられ、その後、両頬に赤い発しんが現れます。続いて手・足に網目状・レース状の発しんがみられ、ほとんどは1週間程度で消失します。感染力が高いのは、発しんが現れる前のかぜ症状の時期です。

感染が多い年齢は？

小児(5～9歳が最多)が多いですが、大人でも感染する場合があります。特に、**妊娠中の感染は要注意!**※ 胎児への影響や流産の可能性があります。

予防と治療

予防接種や特別な治療薬はありません。
・こまめな手洗い
・咳エチケット
が有効です。

※妊娠中の方は人混みを避ける、人混みではマスクを着用する、こまめに手洗いをする、などの感染対策が大切です。



もっと
くわしく!



さらに詳しい情報については2次元コードからリーフレットをご確認ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/densenseikouhan.pdf>



SDGs未来都市
京都



京都市
CITY OF KYOTO

発行元 衛生環境研究所
(TEL:075-606-1723)

感染症に関するお問合せ 京都市保健福祉局 医療衛生推進室 医療衛生企画課 (TEL:075-222-4244)

令和7年3月 京都市印刷物 第062051号